



クリスマスコンサートに向けて練習する部員ら 貝塚市立第四中学校

## 地域住民の寄付で楽器調達

# 恩返しの一環「ハーモニー」

あすも開催

地域住民の寄付で楽器を調達した貝塚市立第四中学校の吹奏楽部が、地域に恩返しをしようと続けている演奏会が好評だ。今年度もすでに20回以上の演奏会を行っており、部員らは「楽しい気持ちになってもうえれば」と話している。

ジャズ風アレンジされたクリスマスソングが同中の練習室に響く。年内最後となる10日の演奏会に向けて、部員らは仕上げの練習に励んでいた。

創部33年を迎える同中吹奏楽部だが、数年前には、楽器が不足、地元住民からの寄付を受けるなどして、楽器を調

## 貝塚・第四中吹奏楽部の演奏会好評

達、練習を重ねてきたという「き入ってしまうほど上手」と経緯がある。そのかいもあり、ほめる。

府吹奏楽コンクール南地区大会で3年連続で金賞を受賞するなど実力もつけてきた。

この恩返しの意味もこめて、地域の集まりや商業施設などで、地域が集まりや商業施設などに出向いて演奏会を開催するようになった。演奏会ごとに、観客の世代を考えステージごとに選曲を工夫、今の2年生は歌謡曲や童謡など世代を超えた楽曲を練習し、これまで約50曲近い曲にチャレンジしてきているという。

校区内の町内会の竹本利弘会長(69)は「地元の中学生が頑張る姿を見るだけでもうれしい気持ちになる。演奏も聴料。

年内最後となる10日の会場は、南海貝塚駅前の商業施設「シェルピア」。クリスマスソングのメドレーやハンドベルの演奏を準備したほか、自分たちと同世代にも足を止めてほしいと、ヒット中の映画「君の名は。」の劇中歌の練習も続けてきた。2年生の本彩乃部長(14)は「自分たちの演奏を聴いて楽しい気持ちになってもうえればうれしい」と話している。

演奏会は10日午前11時、午後2時からの2回。シェルピア1階アトリウムで。入場無料。